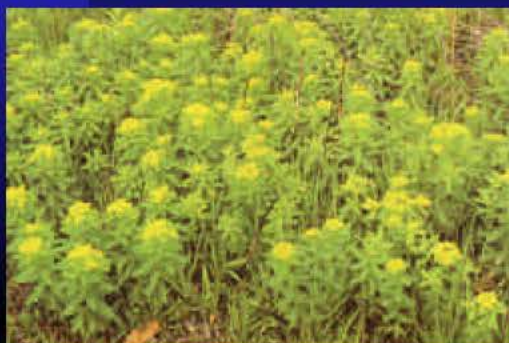


植物

【増加、減少傾向にある植物】

〔減少傾向にある植物〕

ノウルシ等の湿地性植物及び川原に生息する植物



ノウルシ



ミゾコウジュ



カワラナデシコ



カワラヨモギ

〔人工的に植えられた植物〕



コスモス



ポピー

1.5 鳥類

【増加、減少傾向にある鳥類】

〔増加傾向にある鳥類〕

ホシハジロ、カンムリカイツブリ、カワウ等



〔減少傾向にある鳥類〕

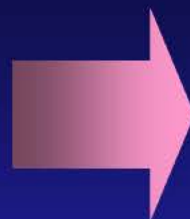
コガモ、オナガガモ、クイナ等



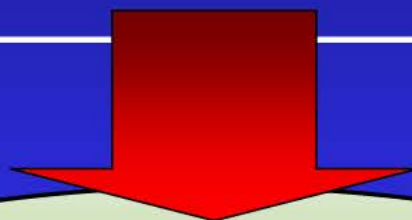
3. 生息環境

河川環境の変化

- ①低水路改修
（ 拡幅&掘削）
- ②淀川大堰の改築
- ③高水敷の整備



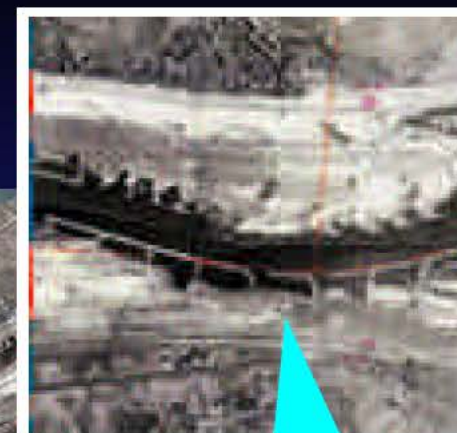
- ①整形された河川形状
- ②冠水しない高水敷
- ③中流域の湛水化
- ④高水敷の都市的利用



複雑な水際の減少、ワンドの減少
浅瀬や洲の減少、冠水帯の減少等

3.1 河川環境の変化

①低水路改修(縦断面変化)



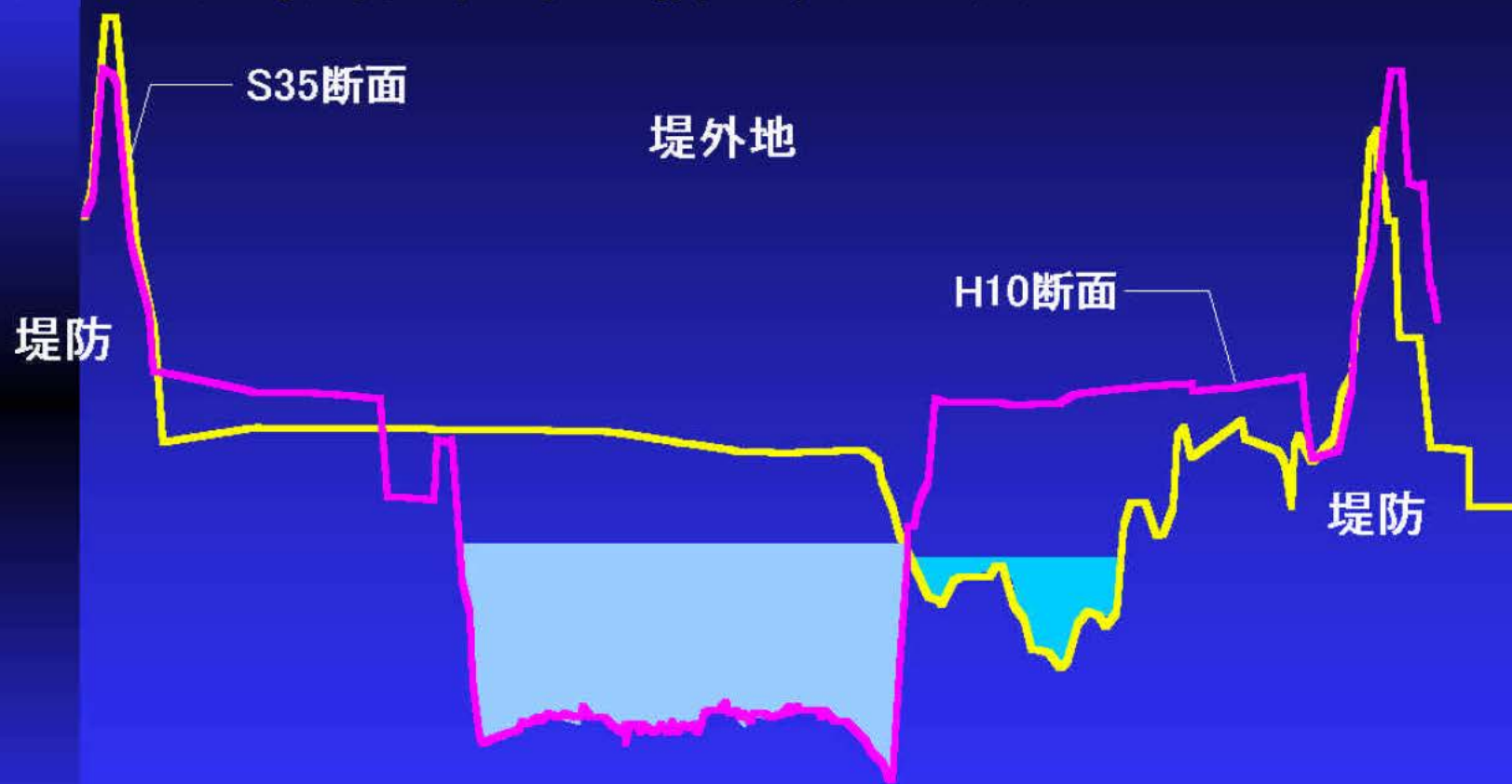
低水路の直線化、護岸整備、低水路断面の拡大、高水敷の造成、河床掘削



3.1 河川環境の変化

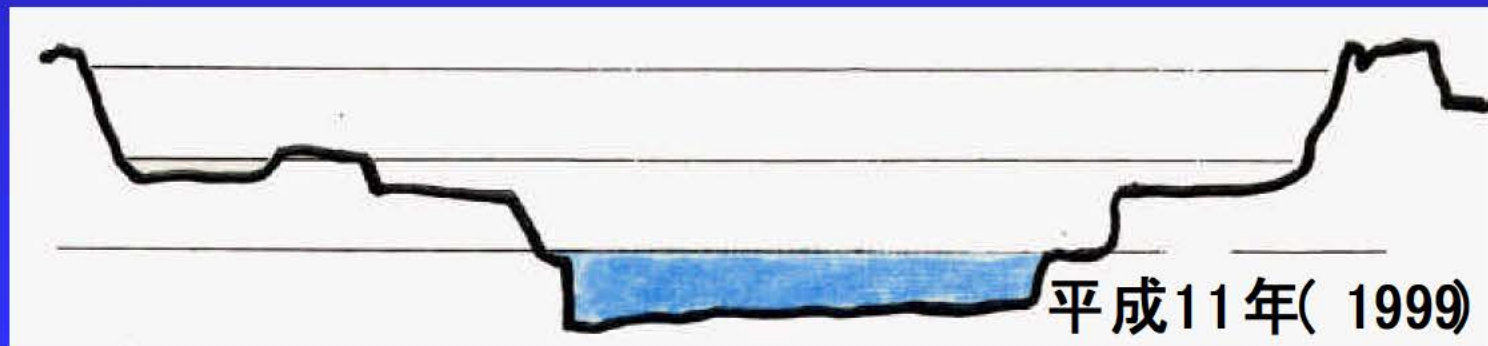
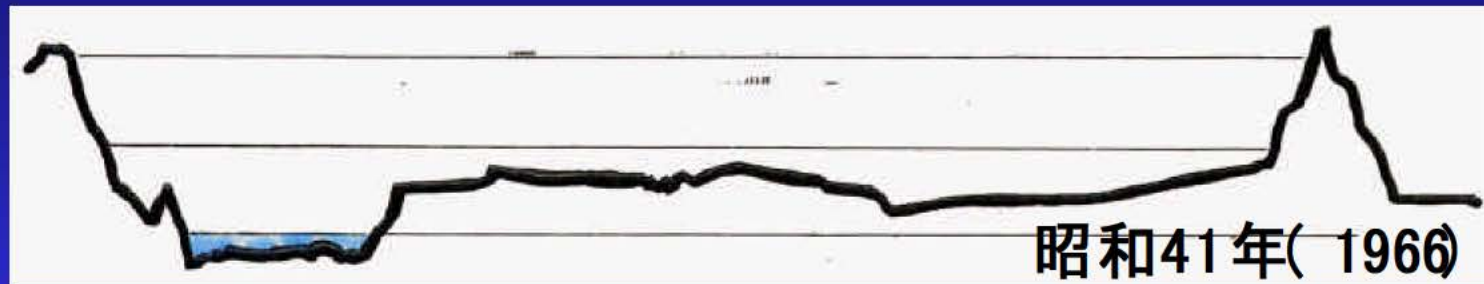
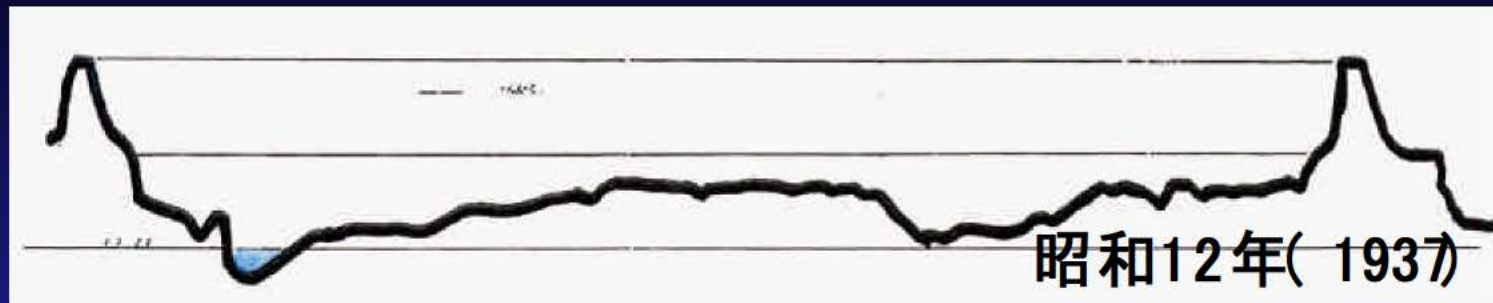
①低水路改修(横断面変化)

(19.8K(鳥飼仁和寺大橋下流)地点)



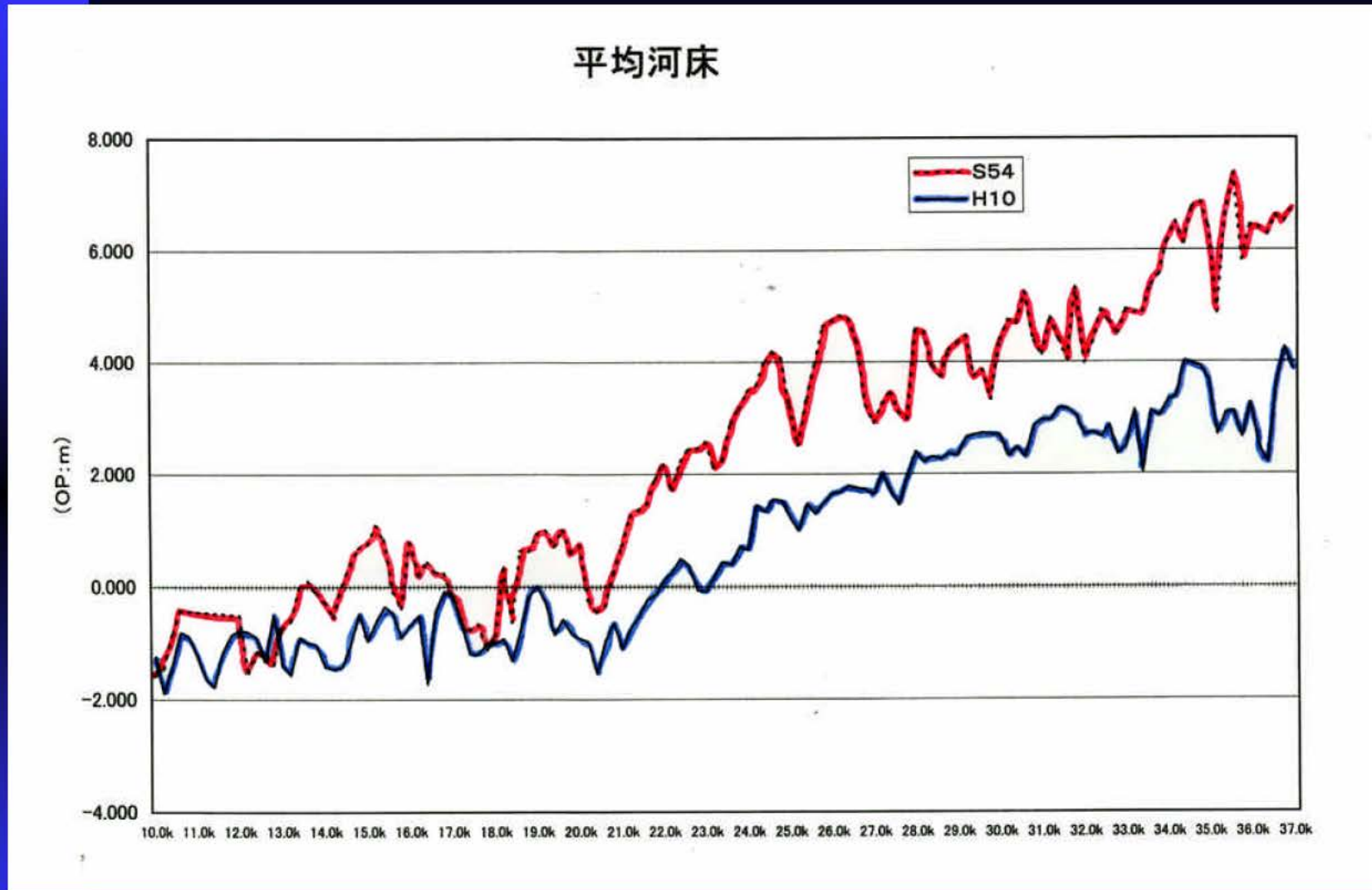
淀川全体にわたって、このような低水路改修が実施され、法面が急になり 浅域が減少しました。

【枚方地点における横断形状の変化】



低水路幅が拡幅され、河床が掘削されて水深が深くなりました。

【淀川本川の平均河床高の変化】



淀川本川の河床は、全域にわたって低下しています。

【淀川大堰の改築】



昭和46年



平成9年

流下能力を大きくするために

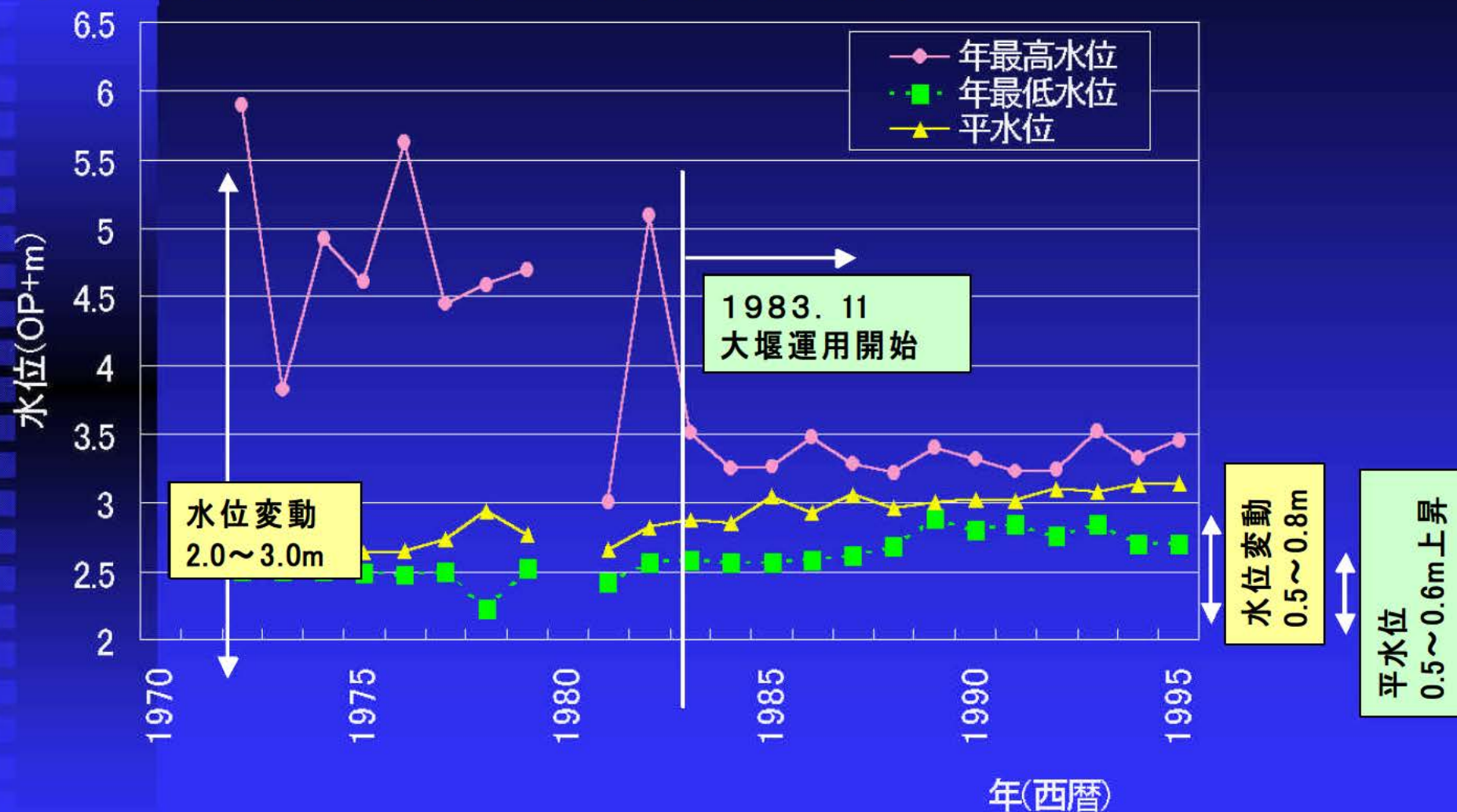
- ①低水路の開削及び拡幅
- ②長柄可動堰の改築
- ③毛馬排水機場の築造



出典：淀川工事事務所

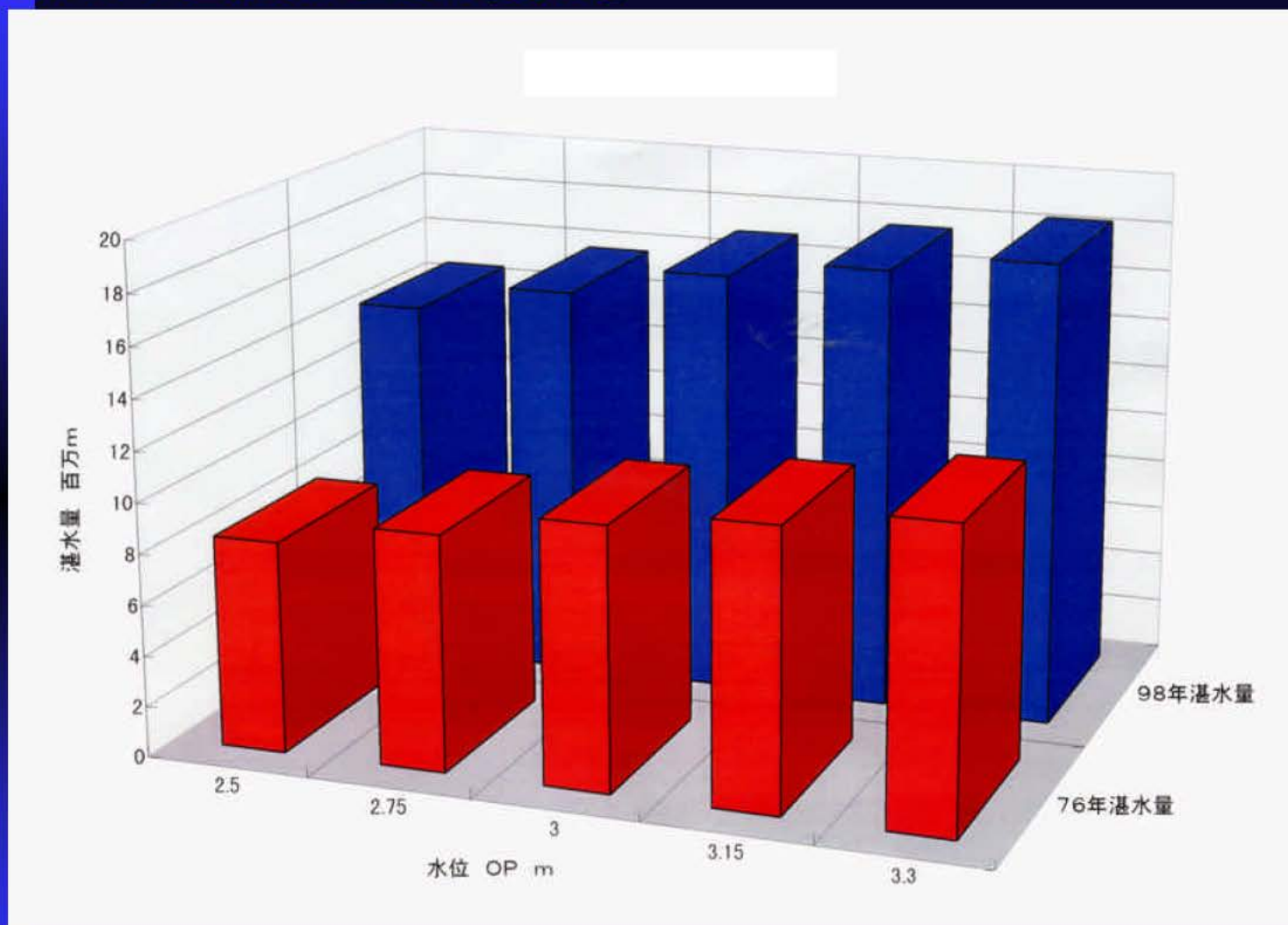
3.1 河川環境の変化

①低水路改修 及び ②大堰の改築



水位が上昇し、水位変動が減少しました。

【淀川大堰湛水量の変化】



淀川大堰改築後は、湛水量が増加しました。